

会議名	港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託 第1回事業候補者選考委員会
開催日時	令和元年12月11日(水曜日) 午前11時から正午まで
開催場所	区役所3階 地域振興課会議室
委員	明治学院大学国際平和研究所研究員 荻村 哲朗(委員長) 港区産業・地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長 大久保 明子(副委員長) 麻布地区総合支所協働推進課長 鈴木 健(委員) 産業・地域振興支援部観光政策担当課長 相川 留美子(委員) 防災危機管理室防災課長 白井 隆司(委員)
事務局	地域振興課国際化推進係
会議次第	1 開会 2 各委員の紹介 3 事業候補者選考スケジュール(案)について 4 事業候補者選考方法(案)について 5 事業候補者募集要項(案)について 6 仕様書(案)について 7 事業候補者選考評価基準(案)について 8 閉会
使用資料	[タブレット使用] 資料1 事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 事業候補者選考委員会選考スケジュール(案) 資料4 事業候補者選考方法(案) 資料5 事業候補者募集要項(案) 5-2 事業候補者募集要項様式集(案) 5-3 【様式1】参加申込書 5-4 【様式2】質問書 5-5 【様式3】共同事業体構成書 【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3-3】委任状 5-6 【様式4】法人概要書 5-7 【様式5】類似事業の業務実績 5-8 【様式6】本業務を遂行する際の人員体制 5-9 【様式7】提案書 資料6 仕様書(案) 資料7 事業候補者選考評価基準(案) 7-2 一次審査採点表(案) 7-3 二次審査採点表(案)

会議の内容	
事務局	<p>【1 開会】 (委員長より開会の挨拶) ～詳細省略～</p> <p>【2 各委員の紹介】 ～詳細省略～</p> <p>【3 事業候補者選考スケジュール（案）について】 (事務局より資料3について説明) ～詳細省略～</p> <p>【4 事業候補者選考方法（案）について】</p> <p>【5 事業候補者募集要項（案）について】</p> <p>【6 仕様書（案）について】</p> <p>【7 事業候補者選考評価基準（案）について】 (事務局より資料3から7について一括で説明) ～詳細省略～</p>
C委員	<p>入札ではなくプロポーザルで事業者を選考することに至った経緯を教えてください。</p>
事務局	<p>他課が実施するボランティア養成研修事業において、プロポーザルでの業者選考がふさわしいことを受けた。参加されるボランティアのモチベーション維持と、提案された育成方針に基づき、企画運営するという点が、各年度ごとに入札で業者を変えるよりも、ボランティアの方も効率よく研修に参加することができるのではないかというところを判断し、プロポーザルとしている。</p>
D委員	<p>2次審査の選考基準「2 円滑な運営能力」について、ボランティアの方々は、最初はモチベーションが高いが、実際に進行すると脱落者が増え、最終的には修了生が少なくなる傾向があると思う。なので、研修に参加したくなるような企画は非常に重要だと思うが、配点が20点と少ないように感じる。他の項目との配点の関係性を教えてください。</p>
事務局	<p>参加意欲が出るような運営も重要だが、そもそも研修内容の企画として成り立っているものでないと参加意欲も出てこないのではないかと考え、その他の項目とのバランスを検討した上で20点と設定した。</p>
E委員	<p>それでは、「1 研修内容の企画力」の中の「ボランティアの意欲を引き出す研修カリキュラムになっているか」の部分を特に重視すればいいか。</p>

事務局	はい。
C 委員	<p>先程の外部監査からの指摘も踏まえ、人材育成事業は新しく参加される方はもちろんですが、育成後の方の活用部分が次のステップとして考えられる。修了生を活用するという視点は今回の評価の中には入っているか。</p> <p>現在、実際の修了生の方々の受け皿は用意しているか。</p>
事務局	<p>研修を受け初めて2年目以降の方に特化したカリキュラムは用意していない。新しく研修を受けた方と2年目以降の方には同じ内容の研修を受けてもらっている。</p> <p>一次審査選考基準の(2)提案の評価「3 研修内容の企画力」で、「2年目以降のボランティアにも適した内容になっているか」と記載をしている。</p> <p>現在は受講歴に関わらず統一した内容で研修を受けてもらっているが、事業者の提案次第で内容を変更できればと考えている。</p>
C 委員	<p>2年目以降の方々を活用するという視点で提案をもらうことは想定しているか。</p>
事務局	<p>想定していない。活用自体は区が行うので、育てるまでが事業者の提案事項である。</p>
A 委員	<p>ボランティアをしたいと思う方は山ほどいるが、ボランティアとして従事したい時にできるわけではないので、モチベーション維持が大事である。</p> <p>また、ボランティア登録制度は、ボランティアの活用とは対極にあり、どうしても「指示待ちボランティア」を育ててしまう。そもそもの構造の問題でしようがないと思うが。</p> <p>経験談でいうと、登録して半年ぐらいから苦情の電話が殺到する。いつなったら私は活躍できるのか。など。</p> <p>ところが実際に神奈川で通訳ボランティア事業を行っており、200人ぐらいの登録者数で5年ぐらいになると、結論として本当に使える方は7人ぐらい。非常にシビアな状況なので、お願いする人はいつも同じになってしまう。非常に難しい問題だと思う。</p> <p>また、港区外の間人としてみると、港区の地域特性というものをもう少し提示してもいいと思う。大使館の数が多い、外資系企業が多い、という点だけでなく、例えば中期長期滞在の人が多くなど。そういう意味では日本語能力が他の区よりも高いと思うし、資格も他の地域と違う。</p> <p>いろいろなプログラムの特徴も出るが、港区には人材活用の可能性がすごく</p>

	<p>あるのではと思う。</p>
E 委員	<p>今回の業務としてボランティア研修と災害時対応訓練がある。ボランティア研修については、提案書の中で方向性について記載されているが、災害時対応訓練についてどのように提案させるかを追記して欲しい。</p> <p>また、委員の採点部分の評価項目について、未記載で提出された場合、0点で採点していいと思う。</p>
事務局	<p>2次審査の項目について、0点での対応のご意見をもらったが、同様に1次審査についても、0点での対応の旨を記載する。</p>
D 委員	<p>当事業のボランティアはいわゆる健常者の方がほとんどだと思うが、観光ボランティアガイドの中には、身体は元気だが、手話で対応している方がいる。そのような背景がある中で手話通訳の対応の旨を仕様書の中に入れる想定はあるか。</p>
事務局	<p>想定はしていない。観光ボランティアガイドの仕様書には、手話通訳者を付ける旨を記載しているか。</p>
D 委員	<p>詳細はわからないが、手話通訳を含めた対応は行っている。</p> <p>研修内容として、そのような方がいた場合どうするか、という基礎知識を学べるような企画を事業者に提案してもらった経緯がある。</p>
C 委員	<p>見積額の採点について、事業規模の70%未満が最高になっているが、基準の設け方は何かに準拠しているのか。安かろうで落札させて、事実上継続契約のような形で更新していくことのリスクヘッジができるかと思う。</p> <p>また、いくつの事業者が手を挙げてくるかわからない、万が一辞退した場合、次点を繰り上げる旨の記載があればいいと思う。</p>
事務局	<p>1点目の見積額だが、ガイドライン含め再度確認する。</p> <p>2点目の次点は、繰り上げるという旨を追記する。</p>
B 委員	<p>先程障害者対応の話が出てきたことについて、確かに外国人対応と障害者は防災に限らず縦割りの部分があり、今まで議論をしてこなかったところ。</p> <p>例えば障害のある方に対する発災時の対応がどうなっているか、それが外国</p>

	<p>人であれば、国際防災ボランティアの方々にも知識を持ってもらうことが必要。この旨も仕様書に追記し、研修内容として取り上げてほしいと思う。</p>
E 委員	<p>発災時の障害者対応という部分であると、障害を持っている方、高齢者の方、その方々は通常被災された場合は、避難所に一旦来ていただいた後フォローが必要だということで福祉避難所に移行することになっている。福祉避難所には施設の専門の職員がいる。ただ、マンパワーとしては介護サービスの事業者がフォローに入る形も想定して人材を確保している。</p> <p>その方達と国際化、多言語化を結びつけることは、未着手の状況なので、国際防災ボランティアにも外国人に関わらず障害者、高齢者といった要配慮者への理解は必要だが、現状そこまでできていない。</p> <p>まずは災害時には配慮が必要だという理解をしてもらうことが第一歩だと思う。そこは研修を運営する中でぜひ触れて欲しい項目。</p>
A 委員	<p>多文化防災については、現状八方塞がりになっている。</p> <p>最近では、台風 19 号の最中に地震も起き、どうするべきかといった状況。</p> <p>災害時は普段機能するものもほとんど機能しないので、そこにいる人がその場で考えてその場でいろんなことを作り上げていくことが重要。</p> <p>事前に外国人・障害者・高齢者への対応について考えていけば、いざというときの動きが早いと思う。</p> <p>閉会の挨拶 ～詳細省略～</p>